

令和7年度福島県放課後児童支援員等研修業務 質問への回答

No.	質問事項	県回答
1	令和6年度の認定資格研修及び資質向上研修（初任者、中堅者、専門）の修了認定数をご教示願いたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・認定資格研修修了者数：312名 ・資質向上研修修了者数：416名（初任者：165名 中堅者：127名 専門：124名）
2	令和6年度の認定資格研修の一部科目修了の認定数をご教示願いたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・認定資格研修一部科目修了者数：4名
3	<p>仕様書2ページ4（1）イ（ク）修了証の作成及び送付事務について、修了証は普通紙にて作成してよいか。ケント紙等の紙質が必要か。</p> <p>また、送付方法は、「送付状況が確認できる方法」とあるが、特定記録郵便で送るという理解でよいか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修了証の紙質は普通紙で差し支えない。 ・送付状況が確認できる方法とは、特定記録郵便や簡易書留など郵便追跡サービスを活用したものが挙げられる。修了証を確実に修了者へ郵送することが上記方法を指定した趣旨。
4	仕様書5ページ（3）配慮を要する児童等対応研修について、本年度から始まる研修という理解でよいか。別事業で類似する研修を行っていたことはあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童等対応研修は本年度からの新規研修であり、放課後児童クラブに係る研修として類似事業は行っていない。

令和7年度福島県放課後児童支援員等研修業務 質問への回答

No.	質問事項	県回答
5	<p>仕様書5ページ(3)配慮を要する児童等対応研修のグループディスカッションについて、定員100名で行った場合、多数のグループが形成されるが、複数のサブ講師等が必要か。</p>	<p>・サブ講師等を配置することが望ましいが、各グループ内で活発な意見交換ができれば配置しなくても差し支えない。</p>
6	<p>【初任者研修・中堅者研修について】 仕様書3ページ4(2)(イ)aに「研修対象者の区分ごとに、6科目の研修を実施すること」とあるが、下記の2パターンのどちらを想定しているか。いずれも混合する形で想定してもよいか。</p> <p>[例]</p> <p>①初任者向け「保護者対応基礎」、中堅者向け「保護者対応応用」など、同一講師によるレベルの違いの研修を計6テーマ、12科目とする(講師は6名)。 ②テーマを共通にはせず、初任者・中堅者に必要なスキルをそれぞれ取り上げ講義する(最大12テーマ、計12科目、講師も最大12名)。</p>	<p>・「放課後児童クラブに従事する者の研修体系」の整理に沿って各研修(初任者、中堅者、専門)ごとに6科目の研修を実施すること。</p>

令和7年度福島県放課後児童支援員等研修業務 質問への回答

No.	質問事項	県回答
7	<p>【初任者研修・中堅者研修・専門研修について】 仕様書3ページ4(2)(イ)cに「研修時間は、1科目当たり90分とし、6科目9時間の研修を2日間で実施すること」とありますが、昼休憩は挟む想定か。または、昼休憩を取らず、実施(昼過ぎに終了)する想定か。</p> <p>[例]</p> <p>① 1限目9:30～11:00 2限目11:10～12:40 3限目12:50～14:20 ※3限目終了後にレポート・アンケート提出</p> <p>② 1限目9:30～11:00 2限目11:10～12:40 昼休憩12:40～13:30 3限目13:30～15:00 ※3限目終了後にレポート・アンケート提出</p>	<p>・左記②のとおり、適宜必要な休憩を入れた日程が望ましい。</p>